

【NEWS RELEASE】

2021年6月30日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社ウィザスに「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社ウィザス（代表取締役社長：生駒 富男）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社ウィザスについては、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

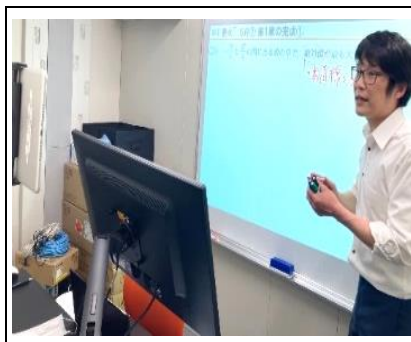
- ① 子ども達の可能性を引き出し、多様な生き方を応援する「学びの場」の提供による学習・自立支援

目標4 質の高い教育を みんなに	4.3 2030年までに、すべての人々が男女の区別なく、手の届く質の高い技術教育・職業教育および大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。
目標8 働きがいも 経済成長も	8.6 2030年までに、就労、就学および職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。

- ② 多様な学びの機会の提供する事業間のシナジーを生かした、生涯教育の実現

目標4 質の高い教育を みんなに	4.6 2030年までに、すべての若者および大多数（男女ともに）の成人が、読み書き能力および基本的計算能力を身に付けられるようにする。
	4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事および起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。
目標10 人や国の不平等を なくそう	10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々の能力強化および社会的、経済的および政治的な包含を促進する。

三井住友銀行では、「SDGs 推進融資」により、本業を通じ、SDGs が達成される社会の実現に貢献をしております。



独自のプラスサイクル学習法による「1/1 教育」

第一ゼミナール

進学塾として、「成績向上と志望校合格」に全力を注ぐのは当然のこと。我々がめざすのは、それにとどまらない、生徒一人ひとりの未来を見据えた指導です。受験勉強を単なる詰め込みで終わらせず、将来に生きる「自ら意欲的に考え、学ぶ力」、ひいては異文化理解や多文化共生といった、これからの社会で増々必要となる力の源泉を育む機会と位置づけ、社会で活躍できる人づくりを推進します。



課題解決に挑戦するプロジェクト型学習を実施

第一学院高等学校

第一学院高等学校（※）では、一人ひとりの身近にある課題だけでなく、地域や社会の課題などを発見し、その解決にチャレンジする「プロジェクト型学習（PBL）」を実施しています。キャンパスの仲間や地域の方々とのコミュニケーションによる対人関係能力の向上にも重点を置き、現代社会で求められる「自ら考え解決する力」「協働で問題を解決する心」を身に付けます。

※第一学院高等学校は SDGs 認定校です。



自立学習型能力開発プラットフォームの展開

TERRACE

ICT 教育・能力開発事業では、小学生から社会人までの幅広い年齢層を対象に、自立学習型能力開発プラットフォーム「TERRACE」等を制作・販売しております。さらに ICT 教育ソリューション・サービス事業として学習塾・学校の講座運営にあわせて、ベストな ICT 教育環境の導入から環境支援、運用支援をワンストップサービスで提供しております。

<ご参考>

※ SDGs とは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。